

平成 29 年度日田市地域林業成長産業地域創出モデル事業全体会議 議事録（公開用）

各協議会の開催にあたり全体協議会を開催し、関係者全員に本業務の重要性および実行体制を周知し、構想の説明を行い、課題解決に向けた意識を醸成することとした。

日時：平成 30 年 1 月 22 日(月) 13:30~14:30

会場：日田市複合文化施設アオーゼ 2 階 会議室 3

議事進行次第：

1. 市長挨拶
2. 協議会及び実行体制について
3. 林業成長産業化地域創出モデル事業及び日田市地域林業成長産業化構想について
4. 平成 29 年度日田市林業成長産業化地域創出モデル事業委託業務について
5. 今後のスケジュールについて
6. 質疑応答

参加者名簿

所属	氏名
日 田 市 森 林 組 合	和田 正明
	柿本 明宏
日 田 郡 森 林 組 合	宮木 俊二
日 田 木 材 協 同 組 合	瀬戸 亨一郎
日 田 地 区 原 木 市 場 協 同 組 合	十時 和之
	田中 昇吾
	武内 達男
	足立 鷹彦
	後藤 清
日 田 木 材 加 工 株 式 会 社	重松 リカ
株 式 会 社 マ ル エ イ 江 藤 製 材 所	瀬戸 亨一郎
大 分 県 西 部 振 興 局 農 山 村 振 興 部	江藤 隆二
	河野 智久
	末光 良一
	石田 陽一
大 分 県 農 林 水 産 研 究 指 導 セ ン タ ー 林 業 研 究 部	青田 勝
	高宮 立身
	亀井 淳介
日 本 フ ォ レ ス ト 株 式 会 社	佐藤 幸志郎
株 式 会 社 グ リ ー ン 発 電 大 分	長谷部 満之助
日 田 木 質 資 源 有 効 利 用 協 議 会	永田 和幸
有 限 会 社 キ ヨ タ キ ナ ー セ リ ー	久積 俊晴
	清瀧 毅
協 同 組 合 日 田 家 具 工 業 会	清瀧 陽平
大 分 西 部 森 林 管 理 署 (オ ブ ザ ー バ ー)	上部 和彦
お お い た 早 生 樹 研 究 会 (オ ブ ザ ー バ ー)	益田 健太
日 田 素 材 買 方 共 同 組 合 (オ ブ ザ ー バ ー)	飯田 和彦
日 田 市 農 林 振 興 部	横尾 達也
日 田 市 林 業 振 興 課	江崎 五郎
	橋本 哲治
	五島 和彦
ア ジ ア 航 測 株 式 会 社	永楽 智史
	矢部 三雄
	塚原 正之
	五十嵐 卓郎
	堀金 司

市長挨拶要旨

日田市林業成長産業化地域創出モデル事業は林業が成長産業であることを全国に周知し、全国で16地域のうちの一つに選ばれた。この事業構想を進めるにあたり大きく3つの柱がある。「大径材の利用活用推進」、「再造林の推進」、「地域材の利活用推進」である。

日田市では林業は歴史の長い産業である。本事業は平成33年度までの5年間実施し、この中で地域の林業を固め、林業が成長産業であることを全国に発信する。林地残材のチップ利用など全国に先駆け、先駆的な取り組みを実施している日田市が、今後もモデルとなるように行っていきたい。

1. 林業成長産業化地域創出モデル事業及び日田市地域林業成長産業化構想について

① 大径材の需要促進と地域の主力である無垢材の強化

大径材を活用した無垢の梁桁等の加工や乾燥技術を確立し、製材システムの検討・開発を進め、効率的かつ安定的な大径材需要を創出する。また、製材工場の水平連携を強化し、強みである無垢材を中心とした邸別発送等の販売力強化、地域材のブランド化として森林認証取得やJAS認定事業者の拡大を目指す。

② 再造林促進のための枝条等の林地残材処理及び新規参入による担い手確保

主伐以降に伴い増加している枝条等の林地残材を山土場等でのチップ化等を行い、木質バイオマス発電用燃料等としての活用を行うとともに、再造林における地拵え費用の低減を図る。また、再造林事業の増加に対し、素材生産業者等の造林事業への参入を促すとともに、樹苗業者が、苗木生産から造林までを一貫して担う体制を構築する。さらに、コンテナ苗や保育作業の省力化のためのエリートツリーや大苗の導入など、低コスト化を推進し、主伐後の再造林の徹底を図る。

③ 多様な高付加価値商品の開発

スギやユリノキ等の地域材を地場産業である家具やインテリア、住宅用内装材などの高付加価値商品への活用を行うとともに、展示会への出典等を通じ、日田家具をはじめとする商品の知名度を高め、需要を喚起する。

2. 平成29年度日田市林業成長産業化地域創出モデル事業委託業務について

① 大径材の需要促進と地域の主力である無垢材の供給強化

- ・大径材の需要促進と地域の主力である無垢材の供給強化の課題に対し、委員会を設置。
- ・航空レーザによる森林資源解析を実施し、現況資源量、大径材比率、将来の成長量を

単木単位で把握する。

- ・有識者と合同で製材工場へのヒアリングを実施し、現況を把握する。また、流通会社に対しても国内・国外への流通動向を調査する。

② 再造林促進のための枝条等の林地残材処理及び新規参入による担い手確保

- ・再造林促進のための枝条等の林地残材処理及び新規参入による担い手確保の課題に対し、委員会を設置。
- ・航空レーザによるバイオマス資源把握調査。
- ・日田市で稼働する移動式チップパーの工程調査と改善計画の立案。
- ・苗木業者の造林事業への参入検討。ドローンを利用した植栽設計の実施。

③ 多様な高付加価値化商品の開発

- ・多様な高付加価値化商品の開発という課題に対し、委員会を設置。
- ・ユリノキなどの早生樹の生育実態及び活用事例調査。
- ・商品開発専門家を交えた具体的な高付加価値化に向けた道筋づくり。

3. 質疑応答

- ① 航空レーザ計測でこれだけ詳細なデータが取れるのであれば、造材・育林等各業務における人員・工程の分析にも利用できるのでは、関連するデータを結果として頂きたい。→検討させていただきたい。こちらとしてもそのような工程の情報があればありがたい(アジア航測)
- ② 伐採後時間が経過した現地確認など植栽に係るについての検討もしていただきたい。→ドローンの利用が効果的と考えるので検討させていただきたい。(アジア航測)
- ③ 人材不足が問題であるが、山側関係者のみでは課題解決が厳しく、製材業者など川上から川下まで共同で議論できる場を設けてほしい。
- ④ →今回の委員会が合同で行ったのはそのためであり、今後委員会間の情報も共有できるように努めていきたい。(アジア航測)
→これらの課題解決については山側だけでなく、川下まで日田市地域全体として取り組むべき話題であることは認識している。市としても対策を打てるものがあれば、検討していきたい。(日田市)
- ⑤ ドローンや航空レーザで取得したデータを県の森林簿とリンクさせてほしい。また業務時の事務処理の簡便化についても協議していただきたい。
→森林簿とのリンクは可能。事務手続きの簡便化については、具体的な話があればデータ整理等は可能であるので検討させていただきたい。(アジア航測)

- ⑥ 航空レーザデータで盗伐や誤伐の取り締まりはできるのか。
→航空レーザデータのみでは、時間が経過しているため盗伐の発見は難しい。データ利活用の面でまだ問題があるがドローンは有効である。(アジア航測)



全体会議実施状況